学校番号	117

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「明日の生活を築く」（開隆堂出版）						
副教材等	スーパーライブビュー（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	着る	○人間と被服 ＊浴衣の着用 ○被服の選択 ○被服の着用 ○被服の管理 ＊洗剤・漂白剤を知る ○被服をつくる ＊エプロン製作実習＊ ○これからの衣生活	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：被服の機能，文化，着装，被服管理について関心をもち，実生活で活用しようとする意欲を持って学習に取り組んでいる。 b：着装、被服の選択、被服管理などに関わる様々な課題について考え、まとめることができる。 c： 被服管理や被服製作についての技術が身に付いている。 d： 着装、被服材料、被服の構成、被服製作、被服管理などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 製作物
		1学期期末考査		○	○	○		定期考査
		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊防災マップ製作 個人調査研究・発表 グループ学習 文化祭展示	○	○	○	○	a：家庭科で学んだ知識・技術等を自らの生活に役立て，主体的に学習に取り組もうとしている。 b：生活の課題を見つめ，課題意識をもって、生活の改善向上をめざして考え、工夫している。 c：テーマや計画に沿って活動を実践できている。 d：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	授業観察 レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価

2	住まう	○人間と住まい ○快適な住まい ＊色の効果を知る マイルーム模型製作 ○安全な住まい ＊防犯や丈夫な家を考える ○まちづくりと住まい ○さまざまな住まいと暮らし方 ＊家を借りる ＊家を買う ＊どの物件が良いか	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a：住居の機能や文化などに関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 b：自分のライフスタイルや価値観に合う住居の選択について、主体的に考え、工夫している。日本の住居の現状を理解し、課題について考えをまとめている。生活の質を高める住居計画を考え、工夫している。 c：住生活の計画に必要な情報を収集・整理することができる。 d：住居の機能、住空間計画、住環境などについて科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査
		2学期期末考査		○	○	○		定期考査

3		○生活資源を活用した生活設計 ○リスクのマネジメント ＊こんな時どうする？ ○キャリアを見通す ライフサイクルゲーム ＊自分のライフスタイルを振り返る	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a：自らの生活設計について、自己のライフスタイルや生活資源の有効活用の視点から考えようとしている。 b：生活資源を有効に活用した自らの生活設計についてライフステージを関連させて考え、工夫している。 c：生活設計を具現化するために必要な情報を収集、整理することができる。 d：生涯通して起こりうるリスクを科学的に理解し、自らの生活設計をもとに生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	
		3学期期末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。